



# 神亀山

か：かしこい子  
め：めあてをもってがんばる子  
や：やさしい子  
ま：まごころを貫き通す子

令和3年6月3日 薩摩川内市立亀山小学校

## 校庭に建つ3つの記念碑

校長 中村 義浩

亀山小学校南門のフェンス近くには、3つの記念碑があることをご存知でしょうか。

一つは「**二方兼一先生頌徳碑**」(しょうとくひ)です。二方兼一先生は、第9代(明治22~24年)、第15代(明治37~大正11年)の2度、計21年間に渡り、本校の校長を務められた方です。また、校歌の作詞者でもあります。大正15年に建てられたこの頌徳碑の裏面には『二方兼一先生は、幾多の俊材を育て、亀山小を北薩の名門校に高められた。先生は敬すること厳父の如く、親しむこと慈母の如くあられた方だった』というようなことが刻まれています。この頌徳碑を建てられたのは「亀山同窓会」のようで「門弟山本實彦謹譜」とあります。3つ目の碑で紹介する山本實彦さんが頌徳碑の文章を作られたということのようです。



その横にある細長い碑は「**篤行者之碑**」(とっこうしゃのひ)です。「篤行者」とは、よい行いをした者という意味です。大正4年に大禮記念(大正天皇の即位の礼記念)として建てられたこの碑は、128坪もの本校の講堂を新築するにあたり、その費用を寄付して下さった**江畑鶴さん**の功績を称えたものようです。当時の貨幣価値はよく分かりませんが、現在の体育館並の講堂を建設するためには、多額の費用が必要だったことは間違いありません。母校愛の深さを感じずにはおられません。

三つ目は「**百難克服**」の碑です。昨年度、太平橋近くにその銅像が建立された本校の卒業生(明治29年卒)でもある**山本實彦さん**の言葉を記した碑です。山本實彦さんは、出版社「改造社」を主宰し、大正から昭和の出版界をリードして、志賀直哉の「暗夜行路」や林芙美子の「放浪記」を世に出した人です。そして、衆議院議員として、氾濫を繰り返していた川内川の改修工事に尽力した政治家でもあります。本人の筆跡を元に刻まれた「百難克服」の碑を見ていると、山本實彦さんが「百難」と語ったのは、明治・大正時代の出版事情なのか、難工事が続いた川内川の改修工事なのかは分かりませんが、この言葉から、数多くの困難な出来事にも負けずと立ち向かっていった山本實彦さんの心たくましい姿が想像されます。この碑には「昭和29年校区民一同建立」とあります。太平橋近くの銅像建立と合わせ、その業績が亀山小校区の方々、薩摩川内市民にとっていかに大きいものであったかが分かります。



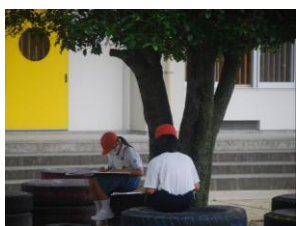
偉大な教員であった二方兼一先生。母校愛溢れた江畑鶴さん。そして実業家・政治家の二刀流で、日本の文化の発展と郷土の課題解決に取り組まれた山本實彦さん。先人の業績を偲びながら、創立145年の今年、亀山小の教職員と子供たちとで、伝統を引き継ぎ、新たな歴史を刻めたらと考えています。

## 校内スケッチ大会

5月10日

10~14日の梅雨の晴れ間に、学年部ごとに校内スケッチ大会を実施しました。低・中・高学年別の、描画指導の主なねらいは次のとおりです。

低：描きたいことを自分で決めてのびのびと表現する。  
中：中心になるものと周りのものとの関係を考えて表現する。  
高：見る角度を変え、立体的・効果的に画面に表現する。



このほかにも、次のような目的もあります。

- ・地域の題材を素材にする。
- ・粘り強く作品を仕上げる。
- ・構図や彩色を工夫する。



校内での特選・入選を決めるだけでなく、いくつかの作品は、県図画作品コンクール等に出品する予定です。

## うなぎの放流体験

5月11日

内水面漁業協同組合のご協力をいただき、4年生がうなぎの放流体験をすることができました。多くの子供たちが、うなぎを直に手掴みすることは初めてで、こわごわと掴んで、1ぴきずつ川に放流しました。今回放流したうなぎは卵からかえって8か月程度のうなぎ700ぴきです。あと、4、5か月すると大人のうなぎに成長するそうです。川内川には、今も天然のうなぎが川岸に巣穴を作り生息しているようで、今回の体験を通して子供たちには、川内川の環境やそこに生息している様々な生物に関心をもってほしいと思っています。うなぎの放流の様子は、MBCテレビで放映され、南日本新聞にも記事が掲載されました。



## 交通安全教室

5月25日

正しい横断歩道の渡り方や自転車の乗り方、交通ルールやマナーを学習し、安全な日常生活を送ることができるようにする、という目的で、低・中・高学年別に交通安全教室を実施しました。梅雨時期とコロナ禍のため、交通安全協会の方のご来校ができなくなり、運動場と教室での学習となりました。低学年の子供たちは、運動場に作られた模擬交差点での実技、中・高学年の子供たちは、テレビとタブレットを使った動画視聴を行い、学年に応じた体験・活動を通して、日頃の自分の登下校の様子や週末の過ごし方を振り返り、交通安全に対する思いを新たにしました。

保護者や地域の皆様方におかれましては、亀山小の子供たちの登下校の様子や自転車の乗り方について、気付かれたことがありましたら、その場で指導をしていただくと子供たちの心により届くことと思います。よろしくお祈りします。



## 全国学力学習状況調査

5月27日

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年より1か月ほど遅れての実施となりました。現6年生は、1月の「鹿児島学習定着度調査」が終わってから、今回の「全国学力学習状況調査」に向けて、過去問等に取り組んできました。子供たちには、学習の成果を発揮できるように、具体的に次のような問題の解き方まで指導して調査に臨ませました。



- ・テストが始まったら「選ぼう！解ける問題から」
- ・難しいなと思う問題でも「めげずに最後まで」
- ・解き終わったら「答えを必ず見直そう」
- ・文章で答える問題も「答えを必ず書こう」



## サツマイモ苗植

6月2日

3年生がサツマイモの苗つる植えを行いました。昨年度から学校西門前の新満さんの畑をお借りし、亀山地区コミュニティの方々の協力を得ての活動です。ご協力いただいた皆様には、事前に農地の耕作、畝立て、ビニルかけ、苗つるの準備等をしていただき、学校としては大変助かりました。梅雨の晴れ間の活動でしたが、子供たちは楽しそうに土に親しみ、苗植えをしていました。秋には多くのいもの収穫が期待できそうです。西門を利用する子供たちは、いもの成長の様子も日々観察できることと思います。



## 稲の種初まき

6月2日

亀山地区コミュニティ協議会地域づくり部会の皆様と市役所農政課の方々のご指導の下、感染症対策を行った上で、5年生が**田植えに向けた種初まき**を行いました。種初まきを初めて経験する子供がほとんどのようで、目を輝かせて活動していました。6月22日に田植えを行い、その後も「ふるさとコミュニケーション科」の学習として、稲刈り・脱穀・かかし作り・餅つきと、1年間かけて米作りについて学習していきます。日頃、主食としていただいている米について、多くの方のご協力の下、種初まきから食する場面まで体験できますことに深く感謝しております。



## 7月行事予定

10日(土)	土曜授業
16日(金)	一日遠足：予定(5/21延期分)
20日(火)	第1学期終業式・大掃除
21日(水)	夏季休業(～8/31)
26日(月)	本校職員による水泳教室(～28)
29日(木)	川内北中水泳部員による水泳教室(予定)

※ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更もあります。



【学校ホームページ】(ブログもご覧ください)  
<http://www.edu.satsumasendai.jp/kameyama-e>

